

あいち食の安全・安心推進アクションプランの 平成 25 年度の進捗状況について

あいち食の安全・安心推進アクションプランは、

- 〔
- 視点 1 「生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進」
- 〕
- 〔
- 視点 2 「食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施」
- 〕
- 〔
- 視点 3 「県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の実施」
- 〕

を 3 本の柱として、県の食品安全確保に関する具体的な施策（20 のアクション）を体系化した行動計画です。

各アクションでは、それぞれに目標と事業の年度計画を設定し、進行管理を確実に実施することにより、食の安全・安心の確保に努めています。

平成 25 年度の進捗状況

全 20 アクションのうち、計画どおり進捗したものは、13 アクション（65%）、ほぼ計画どおり進捗したものは 7 アクション（35%）であり、計画どおり進捗しなかったものはありませんでした。

● 20 項目の進捗状況

評価	区 分	アクション数	アクション番号
A	計画どおりに事業が進捗したアクション (進捗率が100%以上又は計画を達成したアクション)	13 (65%)	1, 2, 3, 4, 7, 8, 10 11, 13, 14, 15, 16, 17
B	ほぼ計画どおりに事業が進捗したアクション (進捗率が80%以上100%未満又は 概ね計画を達成したアクション)	7 (35%)	5, 6, 9, 12, 18, 19, 20
C	計画どおりに事業が進捗しなかったアクション (進捗率が80%未満又は計画が 達成されなかったアクション)	0	

※進捗状況の評価結果一覧を裏面に記載

[進捗状況の評価結果一覧]

アクション	施策項目	評価結果
1	環境と安全に配慮した農業の推進	A
2	安全な鶏卵等の生産と家畜疾病の監視	A
3	安全なきのこの生産	A
4	安全な貝類の出荷	A
5	農薬の適正な販売・使用による安全な農産物の生産	B
6	飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用	B
7	安全な農産物の生産を目指した技術研究	A
8	農畜産物のトレーサビリティシステムの推進	A
9	愛知県版 HACCP 認定制度を始めとする食品営業者の自主管理の推進	B
10	食の安全に関する検査・製造技術の研究及び指導	A
11	安全な学校給食用物資の供給	A
12	食品営業施設に対する監視指導	B
13	医薬品成分を含む健康食品などの流通防止	A
14	輸入食品を含む食品の安全検査	A
15	安全な食肉の流通確保	A
16	JAS 法を始めとする食品表示の調査・監視	A
17	地産地消や食育の推進	A
18	学校における食の指導の充実	B
19	消費者に対する食の安全に関する知識普及	B
20	食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進	B

<進捗状況の評価>

目標及び事業内容の進捗率等から総合的に判断する。

A：計画どおりに事業が進捗した（進捗率が 100%以上又は計画を達成した）

B：ほぼ計画どおりに事業が進捗した（進捗率が 80%以上 100%未満又は概ね計画を達成した）

C：計画どおりに事業が進捗しなかった（進捗率が 80%未満又は計画が達成されなかった）

あいち食の安全・安心推進アクションプランにおける平成 25 年度の進捗状況

視点 1 生産者、加工者、流通・販売者における食の安全管理体制の推進

(1) 安全な農林水産物の生産の推進

アクション	平成 25 年度計画		平成 25 年度実績	備考
1 環境と安全に配慮した農業の推進 評価 A	目標	農産物環境安全推進マニュアルを始めとする GAP 手法の導入産地等数 ----- 年間 120 産地等 年間 136 産地等		
	事業の内容	GAP 手法の導入推進会議の開催	GAP 手法の導入推進会議の開催 1 回	
		GAP 手法の導入に関する地域検討会の開催	GAP 手法の導入に関する地域検討会の開催 11 回	
	エコファーマーの育成・支援	エコファーマー認定会議 4 回		
2 安全な鶏卵等の生産と家畜疾病の監視 評価 A	目標	家畜伝染病発生頭数 ----- 過去 5 年間の発生件数の平均値より 1 割減 過去 5 年間の発生件数の平均値より 1 割減 2,501 頭以下 50 頭		
	事業の内容	畜産農家の飼養衛生管理について立入検査の実施 検査実績／検査計画=100%の達成	畜産農家の飼養衛生管理について立入検査の実施 検査実績／検査計画=100%の達成	
		養鶏農家におけるサルモネラ汚染防止対策技術（鶏卵のサルモネラ総合対策指針）の普及	養鶏農家におけるサルモネラ汚染防止対策技術（鶏卵のサルモネラ総合対策指針）の普及	
BSE 検査頭数／24 か月齢以上の死亡牛発生頭数 =100%		BSE 検査頭数／24 か月齢以上の死亡牛発生頭数 =100%		
	養鶏農家などでの定期的な鳥インフルエンザ検査 対象 9 戸 毎月 1 回延べ 1080 検体	養鶏農家などでの定期的な鳥インフルエンザ検査 対象 9 戸 毎月 1 回延べ 1080 検体		
	鳥インフルエンザ監視検査 140 戸	鳥インフルエンザ監視検査 140 戸		

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考
5 農薬の適正な販売・使用による安全な農産物の生産 評価 B	目 標	本県産農産物における農薬の残留基準値超過事例		
		0 件	0 件	
事業の内容	農薬危害防止運動の実施 ・農薬危害防止運動集中実施期間： 6～8月 ・農薬適正販売・使用推進会議の開催 ・農薬安全使用対策講習会の開催 3回 450名 ・農薬販売者・使用者に対する立入検査 農薬販売者の5% 使用者適宜 ・農薬危害防止のための講習会 20,000名 ・農薬管理指導士の養成 100名 ・農薬取締職員による検査指導の継続・強化 8か所 38名配置 ・地域特産作物の農薬登録拡大試験の実施 20剤	農薬危害防止運動の実施 ・農薬危害防止運動集中実施期間： 6～8月 ・農薬適正販売・使用推進会議の開催 1回 ・農薬安全使用対策講習会の開催 8回 426名 ・農薬販売者・使用者に対する立入検査 農薬販売者の15.5% 使用者 5件 ・農薬危害防止のための講習会 28,752名 ・農薬管理指導士の養成 275名 ・農薬取締職員による検査指導の継続・強化 8か所 39名配置 ・地域特産作物の農薬登録拡大試験の実施 24剤		

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績		備考		
6 飼料、動物用医薬品及び水産用医薬品の適正使用 評価 B	目標	飼料又は動物用医薬品の使用が原因となって生産された有害畜産物による健康被害事例		0件	0件		
		水産用医薬品残留規制値を超えた水産物を原因とする健康被害事例		0件	0件		
		事業の内容	飼料製造工場立入検査 9施設	飼料製造工場立入検査 9施設			
			飼料栄養性検査 18検体	飼料栄養性検査 19検体			
	飼料表示検査 18検体		飼料表示検査 19検体				
	畜産農家等巡回指導・採取調査 90戸		畜産農家等巡回指導・採取調査 91戸				
	水産用医薬品の適正使用の指導 対象者：ウナギ、アユ、マス養殖業者 170経営体		水産用医薬品の適正使用の指導 対象者：ウナギ、アユ、マス養殖業者 166経営体	3経営体廃業			
	水産用医薬品の使用状況調査 対象者：ウナギ、アユ、マス養殖業者 170経営体		水産用医薬品の使用状況調査 対象者：ウナギ、アユ、マス養殖業者 167経営体	3経営体廃業			
	水産用医薬品の残留確認 対象魚種：ウナギ、アユ、ニジマス 計16検体	水産用医薬品の残留確認 対象魚種：ウナギ、アユ、ニジマス 計18検体					

(2) 食品加工施設などにおける自主管理の推進

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考
9 愛知県版 HACCP 認定制度を始めとする食品営業者の自主管理の推進 評価 B	目 標	・「愛知県リスク管理優秀店認定制度」に基づく新規認定施設数 150施設	77施設	
		・「愛知県HACCP導入施設認定制度」に基づく新規認定施設数 7施設	7施設	
事業の内容	保健所及び食品衛生検査所による食品衛生教育講習会 300回 食品衛生責任者養成講習会 16回 食品衛生責任者再講習会 100回 食のリスク管理サポート事業 ・自主衛生管理に関する助言・指導 1,100施設 大量調理施設及び食品製造施設に対するHACCPの導入支援 HACCP 導入研修 20施設 HACCP 実地指導 7施設×1回	保健所及び食品衛生検査所による食品衛生教育講習会 272回 食品衛生責任者養成講習会 16回 食品衛生責任者再講習会 100回 ・自主衛生管理に関する助言・指導 1,217施設 大量調理施設及び食品製造施設に対するHACCPの導入支援 HACCP 導入研修 29施設 HACCP 実地指導 7施設×1回		
10 食の安全に関する検査・製造技術の研究及び指導 評価 A	目 標	平成27年度末までに、食の安心・安全に係る計測装置の試作品数及び商品化件数 10件	4件 (平成25年度末時点)	
		「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト(食の安心・安全技術開発)として食品・農産物の検査技術に関する研究を実施 3テーマ 講習会等を通じた技術情報の提供 食品製造業者への技術指導の実施	3テーマ実施 講習会、研究会等を実施 22件、487名 現場指導 487件 所内指導 2,300件	

視点 2 食の安全のための効率的かつ効果的な監視・検査等の実施

(1) 食品の監視・検査の確実な実施

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考
11 安全な学校給食用物資の供給 評価 A	目標	学校給食における食中毒の発生件数 ----- 0 件		
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 食材の腸管出血性大腸菌O157検査 食器の重金属などの溶出検査 野菜・果物の残留農薬検査 3種検査 120検体 食品の納入時に実施する検収の際に使用する検収簿を標準化し、検収の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 食材の腸管出血性大腸菌O157検査 食器の重金属などの溶出検査 野菜・果物の残留農薬検査 3種検査 120検体 食品の納入時に実施する検収の際に使用する検収簿を標準化し、検収の徹底を図った。 	
12 食品営業施設に対する監視指導 評価 B	目標	<ul style="list-style-type: none"> 食品事業者を原因施設とする食中毒発生件数 ----- 前年度発生件数 > 当年度発生件数	前年度発生件数 (15件) < 当年度発生件数 (17件)	
	事業の内容	監視指導計画 88,209件	監視指導件数 88,828件	
13 医薬品成分を含む健康食品などの流通防止 評価 A	目標	医薬品成分を含む健康食品による健康被害発生件数 ----- 0 件		
	事業の内容	医薬品的効果効果を標ぼうする健康食品の監視指導 15件 ----- 医薬品成分を含む健康食品の買い上げ検査 12検体	医薬品的効果効果を標ぼうする健康食品の監視指導 15件 ----- 医薬品成分を含む健康食品の買い上げ検査 12検体	

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考
14 輸入食品を含む食品の安全検査 評価 A	目標	流通食品を原因とする食中毒等健康被害事例 0件	0件	
	事業の内容	食品衛生監視指導計画に基づく食品などの検査の実施検査計画 12,048件 流通食品の放射性物質検査の実施	検査実績 12,843件 流通食品の放射性物質検査の実施 100件	
15 安全な食肉の流通確保 評価 A	目標	食肉を原因とする人獣共通感染症健康被害事例 0件	0件	
	事業の内容	検査実績(と畜検査頭数+食鳥検査羽数)／申請件数(と畜検査頭数+食鳥検査羽数) =100%の達成 と畜場の衛生監視 16件	検査実績 (34,317+5,091,717)／申請件数 (34,317+5,091,717) =100% と畜場の衛生監視 12件	2ヶ所のと畜場のうち、半田食肉センターは12件の監視計画に対し、12件の監視を実施したが、農業総合試験場と畜場は4件の監視計画に対し、年間処理頭数が0頭で、と畜場が開場されなかったため、監視を実施しなかった。よって全体の監視件数は12件となった。
16 JAS法を始めとする食品表示の調査・監視 評価 A	目標	適正表示推進者の新規養成 150人	160人	
	事業の内容	JAS法遵守状況調査の実施 800か所 食品表示110番の設置 継続 食品衛生監視員によるJAS法監視の実施 継続 普及啓発研修会の開催 (関係団体・機関向け) 10回 (消費者向け) 100人 適正表示推進者講習会の開催2回 消費生活モニターへの食料品に関する情報提供 3回 消費生活モニターなどへの食の安全・安心に関する知識・情報の提供 研修会(1回)など	800か所実施 継続 食品衛生監視員によるJAS法監視の実施 普及啓発研修会 (関係団体・機関向け) 15回開催 (消費者向け) 77人 適正表示講習会 2回開催 消費生活モニターへの食料品に関する情報提供 5回 消費生活モニターなどへの食の安全・安心に関する知識・情報の提供 研修会(1回)など	

視点 3 県民の食の安心に向けた普及啓発・教育の充実

(1) 食の安心に向けた食育の推進

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考
17 地産地消や食育の推進 評価 A	目標	食育推進ボランティアから食育を学んだ人数		
		8.5万人	8.8万人	
	事業の内容	いいともあいちネットワーク会員の充実	いいともあいちネットワーク会員 1,202名	
		ホームページなどの情報発信の充実 継続	ホームページの更新及び情報提供 随時	
		研修会（地産地消交流会、農商工連携ビジネスフェア）の開催 1回	地産地消・農商工連携ビジネスフェアの開催 1回	
		地産地消重点活動 7地区	地産地消重点活動 7地区	
		いいともあいち推進店の登録の推進	いいともあいち推進店の登録の推進 906店	
		食育推進ボランティアに対する研修会などの開催 3回	食育推進ボランティアに対する研修会などの開催 3回	
		食育推進ボランティア同士の連携企画等の実施 7回	食育推進ボランティア同士の連携企画等の実施 10回	

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考	
18 学校における食の指導の充実 評価 B	目標	学校給食において地域の産物を活用する割合			
		41.0%	38.7%		
	事業の内容	「愛知を食べる学校給食の日」の実施 全ての学校給食を実施する公立学校で年3回実施	「愛知を食べる学校給食の日」の実施 全ての学校給食を実施する公立学校で年3回実施		
		学校給食における県内産米飯の実施回数 3.6回/週	学校給食における県内産米飯の実施回数 3.6回/週		
		学校給食における県内産米粉パンの年間活用食数 260万食	学校給食における県内産米粉パンの年間活用食数 243万食		
		子どもを対象にした調理コンクールを開催 応募件数 6000点	子どもを対象にした調理コンクールを開催 応募件数 7268点		
		学校給食の衛生管理等に関する調査研究 15調理場	学校給食の衛生管理等に関する調査研究 15調理場		
		栄養教諭・学校栄養職員衛生管理研修会 1回/年 学校給食調理員衛生管理研修会 1回/年	栄養教諭・学校栄養職員衛生管理研修会 1回/年 学校給食調理員衛生管理研修会 1回/年		
学校食育推進者養成講座を開催 学校における食育推進の核となる教員養成を図る。 800人	学校食育推進者養成講座を開催 学校における食育推進の核となる教員養成を図る。 417人				

(2) 食に関するリスクコミュニケーションの推進

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考
19 消費者に対する食の安全に関する知識普及 評価 B	目標	講習会参加者アンケート結果 「理解が深まった」旨の回答		
		80%以上	89.1%	
	事業の内容	食品衛生講習会 45回	食品衛生講習会 38回	
		食の安全・安心県民セミナー 4回	食の安全・安心県民セミナー 4回	
		消費生活情報紙への食の安全・安心情報の掲載 随時	消費生活情報紙への食の安全・安心情報の掲載 3回	
県民生活プラザ相談員に対する食品の安全に関する知識・情報の提供 随時		県民生活プラザ相談員に対する食品の安全に関する知識・情報の提供 随時		

アクション	平成25年度計画		平成25年度実績	備考
20 食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進 評価 B	目標	・リスクコミュニケーション参加者アンケート結果「相互理解が深まった」旨の回答		
		80%以上	90.3%	
	事業の内容	食の安全に関する総合相談窓口の設置 継続	食の安全に関する総合相談窓口の設置 72件	
		食の安全・安心タウンミーティングの開催 14回	食の安全・安心タウンミーティングの開催 12回	
		現地見学型リスクコミュニケーション 2回	現地見学型リスクコミュニケーション 2回	